

県政報告

自由民主党 尾張旭市支部長
青山省三活動通信

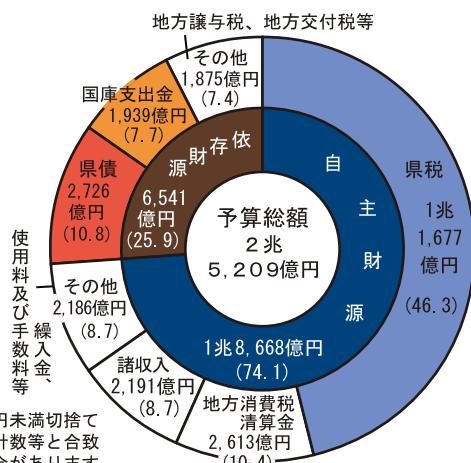
県政をもっと身近に！

省三魂



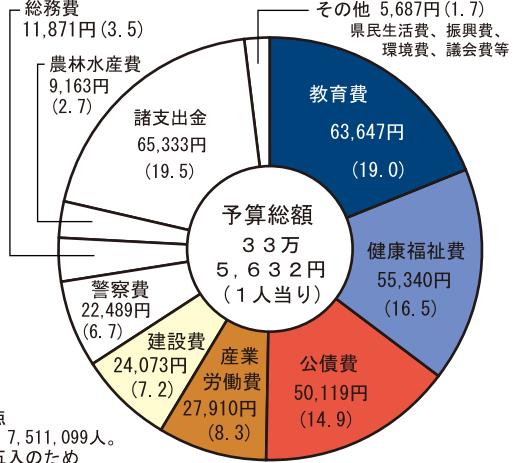
愛知県 2017年度 一般会計当初予算案 2兆5,209億円

歳入の内訳（一般会計）



※ 金額は億円未満切捨てのため合計数等と合致しない場合があります。

歳出の目的別内訳（一般会計）



※ 平成29年1月1日時点 住民基本台帳人口 7,511,099人。
※ 金額は円未満四捨五入のため 合計数等と合致しない場合があります。

2017年度の愛知県の当初予算案は、一般会計2兆5,209億円、特別会計7,661億円、企業会計1,975億円の合計3兆4,846億円。4年ぶりの縮小となったのは名古屋市への権限移譲に伴う小中学校教職員給与等の負担額860億円が名古屋市に移ったことによる影響が大きい。歳入では、県税収入が今年度比803億円の減となる1兆1,677億円。特に法人税は昨年の円高影響を受け22%の減と見込んでいる。県税収入の大幅減少を含む收支不足に対し、基金取り崩しをできる限りやめるなど、財源調整にて対応する方針である。歳出では、東京五輪やリニア中央新幹線開業などを据え、限られた財源を重点的かつ効率的に配分する予算編成としている。2月定例県議会に提出されたのは、新年度予算案や「ぼったくり」飲食店を禁止する条例の制定など78議案。2月20日に開会した県議会において審議をかねて3月24日の採決を予定している。

予算編成「12の柱」

- (1) 中京大都市圏
- (2) 産業首都あいち
- (3) 農林水産業の振興
- (4) 人財力の強化
- (5) 医療・福祉
- (6) 観光あいちの推進
- (7) 文化・スポーツ・魅力発信
- (8) グローバル展開
- (9) 安全・安心
- (10) 「環境首都あいち」の確立
- (11) 東三河の振興
- (12) 地方分権・行政改革の推進

私たちに身近な愛知県の事業を紹介します(一部抜粋)

■働き方改革に取組む企業を支援(新規) 1,951万円
長時間労働の改善や新卒社員の職場定着に社会保険労務士など専門家をアドバイザーとして派遣。

■女性の活躍促進 1億4,918万円

総合施策を実施し、女性が元気に働き続けられる愛知の創造に全庁をあげて取組む。



■子ども・子育て新制度の推進 219億4,024万円

幼稚園、保育所、認定こども園、市町村認可の地域型保育事業への給付。「ニッポン一億総活躍プラン」に基づき保育人材等の確保のための待遇改善実施。

■県独自の保育サービスの充実 3億9,956万円

低年齢児の年度途中の保育や1歳児保育への需要に対応した保育士配置を行う市町村への補助。第三子以降の3歳児未満の保育料を無料化または軽減する市町村への補助。



■子どもの貧困対策と学習支援 2,861万円

2016年実施の子どもの貧困調査結果を分析。
生活困窮世帯の子どもに対する学習支援の場を県内4カ所に設置。(新規)

■医療費の自己負担相当額を助成 242億1,929万円

子ども、障がいのある方、母子・父子家庭、高齢者の方が安心して必要な医療を受けられるよう、医療保険制度における自己負担相当額を公費助成。

■認知症への総合的な対策 1億1,219万円

専門機関が集積する「あいち健康の森」一帯で認知症に理解の深いまちづくりのモデル構想を策定し、認知症の方やその家族の方が安心して暮らせる地域づくりに取組む。

■在宅医療の提供体制を充実 5億4,997万円

訪問診療の導入研修や24時間体制で在宅医療を行う主治医・副主治医制の導入など、医師会が設置する在宅医療サポートセンターや中核センターへの助成。ICTを活用した医療情報の共有化。

■アルコール健康障害対策を推進(新規) 308万円

2016年度中に策定する計画に基づき、地域での切れ目のない支援体制を整備。

■児童・生徒の心サポート

7億1,352万円

小中学校へのスクールカウンセラーの配置を継続、高校へも配置を拡大。スクールカウンセラーへの指導助言を行うスーパーバイザーの配置を継続。

県立学校を対象にインターネット上の書き込みを監視するネットパトロールを実施。

24時間体制のいじめ電話相談を実施。

電話番号052-261-9671(「こころの電話」と同一番号)

※参考: 全国統一番号0120-0-78310 (なやみいおう)

■私学助成 総額

592億余円

授業料の軽減補助(高校、専修学校、小中学校(新規)の児童生徒が対象)。高校入学金への補助。

学校・幼稚園経営への補助。施設充実への補助。

幼稚園特別支援教育への補助等。

■あいちSTEM教育の推進(新規)

1,617万円

S=サイエンス(科学)、T=テクノロジー(技術)、E=エンジニアリング(工学)、M=マスマティクス(数学)に重点をおいた教育を推進し、モノづくり愛知の未来を担う理数工学系人材を育成。

■西三河の特別支援学校の充実

岡崎特支(肢体不自由)への長時間通学緩和と安城特支(知的障害)の過大化解消のため、西尾市内に新しい特支の整備に向けた調査を行う。

917万円

刈谷市立特支(肢体不自由、2018年開校予定)整備への補助。(新規)

3億5,100万円

■交通事故死者数ワースト返上へ

190億566万円

「ながらスマホ」の検挙件数、
人身事故が多い重点対策
10市区で啓発キャンペーン等を実施。(岡崎市は両方とも対象です)。反射材の着用促進、通学路の安全対策、交差点改良、信号のLED化・新設、道路標示等の整備改良など。



■地域公共交通の活性化を推進(新規)

902万円

公共交通の広域連携を推進。病院や商業施設を新たな交通拠点とするネットワークの調査、複数市町村による公共交通の利用促進の取組などを支援。

■愛知環状鉄道設備改修費補助金

3,500万円

耐震補強: 大門駅付近 県道岡崎環状線交差部

六名駅付近 県道桜井岡崎線交差部等

■ 次世代自動車の免税措置延長 2億4,590万円
電気自動車やプラグインハイブリッド車、燃料電池車の自動車税免除を2018年度末まで延長。

■ 農業生産力パワーアッププロジェクト(新規) 1,208万円
産地が10年後に目指す姿に向けて、県と農業団体等が一体となって取組む。

■ あいち型植物工場の推進 1億1,739万円
ICTを活用してハウス内の環境測定や生育環境に必要な制御装置等の導入を支援。得られたデータを活用し、栽培管理技術の向上を図る。

■ あいち森と緑づくり税の活用 24億8,208万円
整備困難な森林の間伐や里山林の再生、県産木材の利活用支援。美しい並木道の再生や都市緑化。NPO等が行う環境保全や環境学習への取組支援。

■ 土砂災害への防災対策補助(新規) 227万円
土砂災害特別警戒区域内の建物に対して行う安全対策工事費用への補助制度を創設。
補助上限75万9千円(国1/2、県1/4、市町村1/4)



建物改修例のイメージ

■ 空家の除却や有効活用(新規) 360万円
適正な管理がされていない空家の除却費用や跡地の地域活用、空き家を地域の交流施設等として活用するための改修に補助。

■ 消防団への加入促進 1,650万円
学生消防団員を対象としたシンポジウムや女性消防団員のスキルアップ等の新規事業をはじめ、消防団加入促進の取組を支援し地域防災力の充実強化を図る。



愛知県大会優勝、全国大会入賞を
昨年成し遂げた額田消防団の皆さん

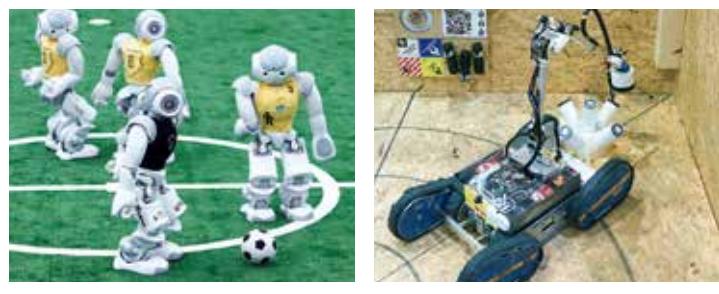
■ 中小企業の資金繰り支援
予算1,794億円・融資枠4,289億円
市中金利の動向を踏まえ、県制度融資の金利を原則0.3%引き下げ。パワーアップ資金及び創業等支援資金におけるクラウドファンディングを活用したメニューを新設。

■ 産業空洞化対策の継続 92億2,654万円
産業空洞化対策減税基金を活用し、県内企業の再投資や県外企業の新規立地、企業等の行う研究開発や実証実験を支援。

■ 次世代産業の育成・振興を推進 8億9,390万円
全国初となる運転席が無人の自動走行(レベル4)実証実験や無人タクシーの需要調査。
愛知県IoT推進ラボの運営を通じ、県内モノづくり企業のIoTやAIの活用を促進。(新規)
航空宇宙産業の国際競争力強化や販路開拓の支援。
水素エネルギー社会実現への取組
健康長寿産業における新たなビジネスモデル構築に向けた調査等。



■ 世界に誇れるロボット産業拠点を目指す 1億5,636万円
2020年国際的なロボットの祭典「ワールドロボットサミット」に向けた準備。(新規)
ロボカップ2017世界大会を7月に名古屋市内で開催。世界青少年発明工夫展を同会場で開催。(新規)
あいちロボット産業クラスター推進協議会を核に、新たな技術や製品の創出、産業の集積を推進する。
国家戦略特区におけるリハビリ遠隔医療・ロボット実証プロジェクトを推進。



ロボカップ サッカー

ロボカップ レスキュー

■ 2026年アジア競技大会 8,184万円
アジアオリンピック評議会(OCA)と9月頃までに開催都市契約を締結。選手村の調査、各市町村や競技団体との調整等の実施。岡崎市中央総合公園が野球、レスリング、アーチェリーの会場予定。

■ 世界的なスポーツ大会 6億7,085万円
2020年フットサルワールドカップの招致活動(岡崎市中央総合公園も会場候補の一つ)。
フィギュアスケート・グランプリファイナルの開催(日本ガイシホール)。
2019年ラグビーワールドカップ開催準備(豊田スタジアム)。

青山省三一般質問(2月議会)

【第70回全国植樹祭について】

質問

昨年11月25日に第70回全国植樹祭の会場が、愛知県森林公園に正式決定されました。開催まで残り2年余りとなります。平成31年度第70回全国植樹祭の成功に向け、29年度はどのように取り組んでおられるのか? また本大会のテーマ「木に託す もり・まち・人のあす・未来」とし、木材利用をキャッチフレーズとしておりますが、会場における県産木材の利用の取り組みについてお聞かせ下さい。



農林基盤局長答弁

平成29年度の取組として、愛知県実行委員会におきまして演出・行事・会場整備など各種計画を取りまとめた基本計画を策定致します。また会場である森林公園では式典や会場の整備に着手します。そして尾張旭市、名古屋市守山区の小中学校にて「苗木のスクールステイ」を行うなど、県内の開催機運を盛り上げています。県産木材の積極使用については木材利用専門委員会を設置し、現在検討を進めています。森林公園正面入口の案内所に県産木材を利用し、メモリアルとしたり、天皇皇后両陛下が御着席されるお野所にも積極的に利用してまいります。



2017年
1月31日(火)
～
2月2日(木)

省三が行く! 活動日記

対馬視察・離島医療の現状と課題について調査 等

対馬に防衛、防災、振興などの視察に行ってまいりました。陸上自衛隊対馬駐屯地へを視察、その後、対馬市役所にて人口ビジョン・総合戦略・国際交流、観光戦略について説明を受けました。翌日は長崎県対馬病院で離島医療の現状と課題について調査。最終日はアイオランドシティ整備事業を視察調査させていただきました。平成6年度より工事が始まったこの事業も、分譲計画面積の約76パーセントがすでに分譲されているとのことです。



発行元：青山省三事務所（尾張旭市南原山町石原95）

TEL:0561-54-4567 / FAX:0561-54-4560

【オフィシャルサイト】<http://aoyamasyouzou.com>

【オフィシャルブログ】<http://ameblo.jp/aoyamasyouzou>

青山省三

検索

ご意見・ご要望をお聞かせください。



■青山省三ウェブサイト

■ブログ 省三魂